

令和3年度 教育活動アンケート分析 及び 意見まとめ

半田市立半田中学校



過日協力頂きましたアンケートの結果です。
(集計結果)

100~80%…A / 80~40%…B / 40~0%…C *は調査なし

アンケートNo.	アンケート内容			割合 (%)											
				教師			保護者			生徒					
				教師	保護者	生徒	教師	保護者	生徒	教師	保護者	生徒			
1	2	3	家庭・地域と連携をとるため、webページ、通信、学校公開、メール、家庭連絡等により、情報発信を行っている。	A	A	C	91	100	↑	86	89.9	↑	27	31	↑
2	3	4	半中学区の地域行事にも積極的に参加するなど、家庭や地域と連携し、学校教育を行っている。	B	B	B	61	72.5	↑	68	63.2	↓	42	49	↑
3	4	5	生徒一人一人を大切にし、相談・指導を行っている	A	A	B	93	97.5	↑	81	82.8	↑	70	72.7	↑
4	5	6	生徒に目標をもたせ、部活動運営を行い、心身の成長と健康の増進や技術の向上を図っている。	A	B	A	80	97.4	↑	74	65.9	↓	75	83.8	↑
5	6	7	生徒に行事に対する目標を意識させ、目標が達成できるよう指導し、その成果が上げられている。	A	A	A	89	92.5	↑	90	92	↑	78	84.3	↑
6		8	生徒が個人・集団の目標を意識して生活するよう指導し、その成果があげられている。	A	*	B	73	92.5	↑	*	*	*	49	57.3	↑
7	7	9~30	生徒にわかりやすく・おもしろい授業となっている。	B	A	B	75	75	→	66	80.9	↑	69	75	↑
9	8	31	学校生活の中で時間を意識する指導を行い、その成果があげられている	A	B	A	64	92.5	↑	59	68.1	↑	83	84.6	↑
10	9	32	あいさつ・返事ができる生徒を育てる指導を行いその成果があげられている	B	A	A	82	57.5	↓	84	87.3	↑	90	86.4	↓
11	10	33	「ものを大切に」「公共美化」の指導を行い、その成果があげられている。	B	B	A	52	66.7	↑	67	69.7	↑	85	88.5	↑
12	11	34	正しい身なりの指導を展開し、その成果が上げられている。	A	A	A	54	90	↑	86	87.2	↑	86	84.3	↓
13	12	35	交通ルールやマナーについて、機会があるごとに指導し、自ら安全を判断できる生徒を育成している。	B	A	A	88	72.5	↓	93	96.1	↑	90	92.3	↑
14	*	36	どの生徒にも活動の場があり、居場所のある学級経営をしている	A	*	B	61	87.5	↑	*	*	*	74	78.7	↑
15	13	37	いじめをしない、いじめをさせないムードを学級、部活動で醸成できている	A	B	B	70	92.5	↑	57	60.9	↑	62	66.2	↑
16	*	38	学級の係や清掃・給食当番等、責任をきちんと話すよう指導・支援をしている	A	*	A	75	95	↑	*	*	*	83	88.2	↑
*	14	39	学級が楽しい・楽しそうに登校している	*	A	A	*	*	*	80	80.5	→	73	80.7	↑

1 評価が全て「A」の項目

アンケートNo.	アンケート内容			結果			割合 (%)		
				教師	保護者	生徒			
5	6	7	生徒に行事に対する目標を意識させ、目標が達成できるよう指導し、その成果が上げられている。	A	A	A	92.5	92	84.3
12	11	34	正しい身なりの指導を展開し、その成果が上げられている。	A	A	A	90	87.2	84.3
16	*	38	学級の係や清掃・給食当番等、責任をきちんと話すよう指導・支援をしている	A	*	A	95	*	88.2
*	14	39	学級が楽しい・楽しそうに登校している	*	A	A	80.5	80.7	

コロナ禍で各種行動が制限されている中でも「行事」の項目で評価が高かったことから、生徒一人ひとりが引き続き目標をもって活動を続けていることがわかります。また、身なりを整えるなど当たり前のことを取り組んでいることや、係・当番活動でも各自の責任をしっかりと果たせるようになってきていると感じます。また、「学校が楽しい」「楽しそうに学校に登校している」の項目で生徒、保護者の両方で満足度が高いことを嬉しく感じます。生徒の成長につながるよう、より一層生徒たちに充実した支援をしていきます。

2 「A」が2つ「B」1つ

アンケートNo.	アンケート内容			結果			割合 (%)		
				教師	保護者	生徒			
3	4	5	生徒一人一人を大切にし、相談・指導を行っている	A	A	B	97.5	82.8	72.7
4	5	6	生徒に目標をもたせ、部活動運営を行い、心身の成長と健康の増進や技術の向上を図っている。	A	B	A	97.4	65.9	83.8
6	*	8	生徒が個人・集団の目標を意識して生活するよう指導し、その成果があげられている。	A	*	B	92.5	*	57.3
9	8	31	学校生活の中で時間を意識する指導を行い、その成果があげられている	A	B	A	92.5	68.1	84.6
10	9	32	あいさつ・返事ができる生徒を育てる指導を行いその成果があげられている	B	A	A	57.5	87.3	86.4
13	12	35	交通ルールやマナーについて、機会があるごとに指導し、自ら安全を判断できる生徒を育成している。	B	A	A	72.5	96.1	92.3
14	*	36	どの生徒にも活動の場があり、居場所のある学級経営をしている	A	*	B	87.5	*	78.7

相談体制については生徒と教師で差があります。これは早急に取り組むべき課題と捉えています。教師本位の相談や指導ではなく、相談しやすい体制を整え、生徒の話をしっかりと受け止め、対話ができるように改善をしていきます。

あいさつや返事・公共マナーについては、教師と生徒に大きな意識の違いがあります。多くの生徒はできていると考えていますが、さらに目指すべき姿へ近づくよう指導していきます。ご家庭でも地域でも周りの大人が範を示して協力しつつ、習慣となるようにしていきましょう。

交通マナーについても同様に大きな開きがあります。本年度も、自転車による交通事故が数件起きています。ひとつ間違えれば命に関わる大きな事故になっていた可能性もあります。学校でも継続して指導していきます。ご家庭でも生徒が被害者にも加害者にもならないよう交通ルールの遵守についてお話してください。

3 「A」が1つ「B」が2つ

アンケートNo.			アンケート内容	結果			割合 (%)		
教師	保護者	生徒		教師	保護者	生徒			
7	7	9-30	生徒にわかりやすく・おもしろい授業となっている。	B	B	A	75	80.9	75
11	10	33	「ものを大切に」「公共美化」の指導を行い、その成果があげられている。	B	B	A	66.7	69.7	88.5
15	13	37	いじめをしない、いじめをさせないムードを学級、部活動で醸成できている	A	B	B	92.5	60.9	66.2

いじめについては、生徒・保護者と教師で大きな差がありました。この結果を受け止め、改善を図らなくてはなりません。いじめは起こっているものとして捉え、一人一人に寄り添い、早期発見・早期解決に努め、学校全体で取り組んでいきます。また、周りの大人たち（教師・保護者・地域）が、いじめは絶対に許さないという強い決意を常に生徒に真剣に語り、伝えていく必要があります。学校では、被害者を絶対に守るため、解決した場合もできれば追跡調査を行い再発防止に努めます。

「授業」に関する項目は、学校教育の根幹をなす項目になります。今年度は、タブレット端末の導入により授業スタイルが変わり戸惑うこともありましたが、今では当たり前前に活用しています。今後も教材研究や指導法改善の研修に励み、全職員で授業力向上に努力していきます。

4 すべての項目が「B」

アンケートNo.			アンケート内容	結果			割合 (%)		
教師	保護者	生徒		教師	保護者	生徒			
2	3	4	半中学区の地域行事にも積極的に参加するなど、家庭や地域と連携し、学校教育を行っている。	B	B	B	72.5	63.2	49

この項目は、教師、生徒、保護者の満足度が大幅に下がっています。コロナ禍で地域との関わりが大幅に制限されていることも一つの要因とは考えられるものの「地域行事やボランティアに参加したい」と考えている生徒が半数に満たないことは大きな課題だと考えています。来年度以降、「半田中避難所運営訓練」や「ささえあい活動(地域の独居老人家庭へのボランティア活動)」・「学校関係者交流会(授業参観をいただき給食を生徒とともに食べる会)」などによる地域との交流とともに、総合的な学習の時間の中で地域貢献のあり方を考えることで生徒に地域の一員としての自覚と、地域との連携が定着するよう工夫していきます。

5 「C」がある項目

アンケートNo.			アンケート内容	結果			割合 (%)		
教師	保護者	生徒		教師	保護者	生徒			
1	2	3	家庭・地域と連携をとるため、webページ、通信、学校公開、メール、家庭連絡等により、情報発信を行っている。	A	A	C	100	89.9	31

保護者、教師の評価は高いものの、生徒の満足度が低くなっています。コロナ禍で学校での生徒の活躍の場面を見る機会がなくなることにご理解をいただいているからこそ、より積極的に学校からの情報を発信し、開かれた学校を目指します。

記述回答 ○良かった点、△改善してほしい点のまとめ

文章・文字等、原文のまま記載しています。内容が多岐にわたる場合は、項目ごとに分割しました。また、担任・担当個々に直接伝えた方がよい内容については、担当に直接伝え、ここへは掲載してありませんので、ご承知おきください。

<学習について>

△学習面において、進路について叱咤激励をお願いしたいです。がんばっているところは、さらに伸ばして、希望する高校に進学できるよう助言をしてほしいです。保護者からみて、こどものがんばりが成績に反映され、応援することで、夢の実現に近づけると思っています。

△苦手科目の補講や質問しやすい環境づくりをしてほしい。

△テストの平均点をみると、先生方が目指すレベルと、子供のレベルにかなり開きがあるように思います。教科担任制であっても、決め細やかな指導や支援は必要です。個をみてください。学校で学習する時間が一番長いので、塾に任せるのではなく、指導のあり方(授業力)を見直してほしいと思います。学年全体の底上げを期待します。

△子どもが、授業の進み方がクラスによって違うと、少し不満そうなので、改善してもらえたらと思います。

生徒にとって「わかる・できる・楽しい授業」をつくることは、教職員の最大の努めであると考えます。どうしたら生徒の興味・関心を惹き付ける授業ができるのか、日々試行錯誤を繰り返しています。半田中学校として、学校生活の充実の先に、生徒の学力が向上し進路選択の幅が増えるよう、今後も努力いたします。授業の学習を含めた学校生活全体を通して「未来を生きる力」を養う場にしたいと思います。

<生活面について>

△冬にコートを着たり、授業中に膝掛けを出来るようにしてほしいです。

△無駄な校則を無くしてほしい。例えば、靴下はワンポイントじゃないといけないなどの細かい指定について。

△男子の教室でのジャージ着用を許可してほしい。女子だけ許可されているのは不思議です。学ランは、文字を書いた

り、動きにくく、冬はカッターシャツに、ジャージを羽織って授業しても良いのではないのでしょうか？

△気温が低い日のコート、タイツ(女子)またはジャージなどの防寒着の着用を認めて欲しい。真冬にセーラー服だけでの登校はどんな理由なのか 精神的・身体的に寒すぎる

△荷物が重すぎる。部活動も各部の部室がない分荷物をわざわざ道具やシューズを持って帰らなくては行けないが、そこが改善できないでしょうか？

△靴下の色についてですが、女の子のタイツは黒も可であるのなら、男の子の靴下も黒も可にしていきたい。男の子は、皮脂汗の分泌も多く、白い靴下は汚れが目立つ。そのため、毎日手洗いをしている。黒も可であれば手間と時間の負担を軽減できるので、ご一考いただきたい。

生徒の安心・安全が最優先でなければならないと考えます。校則については、人権を考慮した見直しが必要であると考え、校則検討委員会を立ち上げました。生徒会を中心に話し合い、生徒の、生徒による、生徒のための半田中学校を目指していきます。

※新型コロナウイルス感染症対策について

○先生方、生徒達がしっかりコロナ対策をしながら、学校行事、部活動が行えたこと。良かったと思います。

○オンライン三者面談は画期的で、保護者の立場から、とても感謝しています。(多数)

○双鳩祭や修学旅行など、例年通りに行えない行事を何とか実行してくれようという努力を感じました。

○修学旅行が無事終わったことは良かった。コロナで難しい事も多かったと思うが、先生方の工夫と努力で良い経験ができたようだ。特に二日目のクラス解体グループはとても喜んでいました。

○初めての文化祭・体育祭でしたが、体育祭はリモート及びテレビ放送があり、どんな様子が見られてよかった。本人たちもとても楽しそうだった。(多数)

○体育祭のライブ配信ありがとうございました。直接応援することは叶わなかったけど、配信を見たので子供が帰宅してから会話の共有ができました。文化祭も生徒会の皆さんのおかげで、とても楽しく視聴できたと話していました。

△修学旅行は、もっと状況を判断して前年度のようにギリギリまで考えて欲しかった。

△双鳩祭など、親の見学は今年もなかった。ライブ配信等の工夫はあったが、他学校では親の参観出来ている学校もある。しかし、半田中は今年も参観がなかった。例えば3年の保護者のみ等の参観を認める等、工夫出来る部分はあったのではないかと思うので、その点については非常に残念でした。

△三年生の保護者だけでも、行事の観覧を認めてほしかった。(多数)

感染症対策に伴い、苦渋の決断として、生徒をはじめ保護者・地域の皆様には、その願いとは異なる対応をお願いしました。教育活動を公開したい思いはもちろんなのですが、教育委員会の指導の下、判断時には感染拡大防止を最優先として生徒のみでの開催とし、保護者・地域の方には動画配信をしたり、地元ケーブルテレビの協力を得たりしながら公開できるよう努めました。

今後、これまで通り教育活動の公開を前提として、感染症対策を適切に行いつつ「学校での感染拡大をさせない→教育活動を止めない=生徒の成長機会を減らさない」という方針で進めていきます。

<部活動について>

△部活動についてですが、今後どういった方針で活動していきたいのか不明です。全く練習もなく、試合も少なく、子供達のやる気が失せています。練習試合も公式戦も保護者は一度も見れず成長が見たいです。練習着等購入してやっている以上はもう少し力を入れて活動していただきたいです。中学生から部活動をなくしたら何に一生懸命やるのですか？中学生は勉強だけではないと思います。

△部活動は強制ではなく、任意の参加にしてほしい 個人の習い事などの都合もあるため

△土日の部活動の有無の連絡をもっと早くしてほしい。冬の部活動は家が遠いと家に着く頃には暗いのももう少し考えてほしい。

△部活動生活でしっかり学んだり楽しんだり出来るように、先生も教育を受けてほしい。

△部活動の日数が少ないように感じられる。

部活動は、生徒の心身の成長につながる活動であると捉えています。半田中学校は、部活動を教職員の教え込みではなく生徒の自治的活動と位置付け、生徒がどうしたいのかを自ら考え、判断し、実行できる力をつけたいと考えております。一方、2020年9月に文部科学省から「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」が発表されました。この趣旨は、「学校部活動を地域部活動に移行していく」というもので、土・日・祝日等の部活動を学校から地域に移行する考えが記載されています。今後の動向を見ながら、部活動のあり方について検討していきます。

<職員に対して>

- どうしたら出来るかを常に考え 工夫し実現していく姿勢は素晴らしいと思います。色々ときできなかった年もありました。出来ること 出来たことに感謝です。いつもありがとうございます。
- いつもありがとうございます。大変な時期なのに子供は楽しく学校へ行ってます。先生方のお陰だと思っています。
- 先生に指導をお願いしたのですが、速やかに対応していただきありがとうございます。
- 子供とのことを電話で知らせてくれるので、情報を共有出来ている感じがする。
- △女子の前髪横の前髪より少し長い髪の毛が出ていて注意されたそうです。何故ダメなのか説明も無く「留めるように」言われたそうです。他にも出ている子は居るようですが、全員に声を掛けているようではないそうです。納得のできる説明があって、全員に声をかけてみえるのならいいのですが、一部の子だけに言っているようで親子共々嫌な気持ちになりました。
- △先生の機嫌により態度が違いすぎる。勉強勉強と言いすぎ。勉強と言うなら、具体的に 的確に伝えて欲しい。
- △宿題に追われて、遅くまで架かることが多いので、宿題を少なくして濃密活わかり易い授業をお願いします。

教職員は生徒にとって尊敬できる身近な大人でありたいと思います。また、変化の激しい社会の中で、生徒に夢と希望を育めるよう、自らも学び続けることが大切であると考えます。生徒への指導の中で、生徒が納得できるものでなければ指導の効果は得られません。教育の原点である「褒める・受け止める・決めさせる・待つ」姿勢を大切にして、生徒とかわかっていきます。

<施設・活動に対して>

- ネットを利用してのリモートや情報共有のプリント等や説明会は時間がない人にとって有効に使える手段であり、それを選択できるのはありがたい。
- 授業だけでなく、様々な面で貸与されたタブレットをもっと活用できるといいと思います。体育祭がオンライン配信されたのも、写真がオンラインで注文できたのもよかったです。文化祭も配信されるとよかったです。
- △授業参観日などを作って欲しい。クラスがどんな感じわからない
- △双鳩祭の写真等がマスクでほとんどわかりませんでした。難しいかとは思いますが、もう少し策が欲しかったです。
- △コロナの感染状況にもよるが、ライブ中継だけではよくわからないので、今後、実際に保護者が学校行事を見学できる機会を作って欲しい。(多数)
- △授業参観、合唱コンクールなど保護者が参加可能な行事、説明会などの参加が必要な行事については、少なくとも2ヶ月前までには知らせてほしい。日にちがはっきりしなくも、このぐらいの時期にこれがあるということは知らせておいてもらわないと休みが取れない。(年間行事一覧では、どれが保護者参加なのかわからない)

コロナ禍により、オンライン授業や動画配信など、学校の様子をできるだけ発信しようと努めました。次年度は、感染症対策を徹底したうえで、保護者・地域の皆様には、直接、教育活動をご覧いただけるようにしていきたいと思えます。(あくまでもその時点での感染症感染状況からの判断になることは、ご理解ください。)

<その他活動・他機関団体の活動に対して>

- △心理カウンセラーにひとりずつ話を聞く時間を。繰り返し面談を。
- △多感な年頃の子どもたちが安心して学校生活を送れるようにお願いしたいです。悩みがあっても相談しづらい／誰に相談すればいいのかわからない／先生たちは忙しそうだから／教育相談の時間では相談しづらいと子どもが言っていました。

思春期を迎える多感な生徒たちが、安心して学校に通えるようにするため、生徒が気軽に相談できる体制づくりを早急に進めて参ります。また、なかなか学校に足が向かない生徒にも登校を支援するサポートルームの運用を拡充し、生徒の心のエネルギーを蓄えられるようにしていきます。

※上記の他、学校の外郭団体・組織・業者への意見もいくつかありました。これらにつきましては、直接そちらへお伝えします。

今後、教育活動アンケートについて昨年度の結果と比較しつつ、全職員で改善点を話し合い、よりよい学校教育活動を目指します。今年度は、コロナ禍の中、学校という場で直接成長した姿を見る機会が減ってしまうという残念な1年になってしまいましたが、生徒たちは、保護者のみなさんに支えられながら、確実に成長しています。是非、ご家庭でお子さん自身から話を聴いて、その成長を確かめてください。

そして、今後も、生徒たちの成長のために、共に努力する保護者と地域と学校であるように、半田中学校の取り組みにご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

